

夢を目指す皆さんへ贈るメッセージ



田村 有深歩

“「今」を大切に”。

夢を描き、めざした学生時代。貴重なそのとき、その「今」がなかったら、トレーナーにすらなっていなかったかも知れません。学生時代は、夢を叶える未来への入り口です。

「今」を大切に、皆さんお一人おひとりの夢を叶えてください。

●夢を叶えるレシピ

- 1)自分を見つめる
 - ・自分の性格を知る
 - ・未来で何をやりたいのか?
 - ・どんな自分でありたいのか?
- 2)自分の夢を明確にイメージする
- 3)あらゆる事にわくわくした気持ちで取り組む

した田村さん。この間に、広島県立西条農業高校陸上部や、陸上の広島県国体チームのサポートを任されるまでになりました。学費は自分持ち、アルバイトで学費を稼ぎながらの「GL時代」。つい、ネガティブな言葉が口から出てしまうことは、学生にとってごく普通のこと。しかし、田村さんは、ネガティブな感情に夢を押しつぶされてしまわないように、「思い直し、最も大事な「夢」を直視し、「夢の実現」を最優先にと考えて頑張り通します。



地方の広島で、自身の治療院Solastaを開院し、仲間と治療を続けながら、体育大学出身でもない田村さんが、わずか31名しかないオリンピックトレーナーに選ばれ、あの男子400メートルリレー・銀メダル獲得の感動をチームの一員として、ともに味わうことができた…。田村さんのこれまでの人生で、言うまでもなく一番の感動でした。



Solasta治療院 院長
リオデジャネイロオリンピック・日本代表陸上チームトレーナー
4 田村 有深歩さん
■鍼灸学科 2008年卒業 5期生

笑顔が一番似合う トレーナーに。

選手たちは、不安を抱えてトレーナールームに来る。自分たちができる最善として、笑顔が一番似合うトレーナーになろうと決意。

田村さんは、高校時代、スポーツトレーナーになりたいという夢を描き、どうせやるなら、オリンピック選手のトレーナーになって、オリンピックにも行きたいと、膨らませます。高校の先生から「鍼灸師になつたらトレーナーになれる」と聞き、卒業後は鍼灸師取得をめざし「GLへ」と進路決定。ところが、ご両親から、「短大に進学して、女子大生らしい生活も経験してほしい」と、思われ「待った」が。悩んだ挙句、**栄養学もわかるトレーナーになろうと決意**。まずは短大の栄養コースに進学します。

卒業後は「GL」に進学する決意を胸に、短大入学後は、学生トレーナーとして陸上部のサポートを開始。田村さんはこの2年間で、回り道ではなく、本気でトレーナーになる気持ちと実感。一見無駄と思えても、無駄なことは何もない。だからこそ、**何事も力を抜かないと決め、短大卒業後、晴れて「GL」鍼灸学科に入学**します。

「GL」に進学してからも学生トレーナーを続けた田村さん。とはいえず、できることは、受付やアイスパック作りなど、資格なしでできる仕事ばかりでした。そのなかで、選手のために自分が役に立てることを考え続け、**雰囲気を読み取ること、細かいところへ気を配ることの大切さ**に気がきます。そして、トレーナールームに来る選手たちの不安な表情にも気づき、**笑顔の大切さを学ぶこと**に。**笑顔が一番似合うトレーナー**を目指